

小中学校のあり方意見交換会 意見・アンケート結果
(保護者向け・豊岡会場)

■ 開催日 2020 年 9 月 23 日 (水) 19:00～20:20

■ 会 場 市役所本庁舎 大会議室

■ 出席者 保護者等参加者 46 名
教育委員会事務局 10 名

■ 意見交換 (要約)

意見・質問	回 答
《通学時間》 通学時間は 1 時間以内でとのことだが、具体的に 1 時間というと、どこからどこまでか。バス通学で 1 時間は子どもたちの負担になるのではないか。	現在でも 1 時間近くかけて通っている地区もある。旧市町を越えなければ、概ね 1 時間程度で通学することは可能と考えている。その場合であっても、極力、負担が軽減できるように検討したい。
《学校再編》 中筋小・新田小・神美小の 3 校同時の統合という選択肢はないのか。	3 校同時の場合、対象の校区住民の合意に時間が必要であるが、中筋小に複式学級が生じるのは 5 年～10 年後と少し先なので、そのような案も校区の皆さんと検討していくことが可能であれば課題としたい。
《学校再編》 中筋小の統合先として、八条小との統合というのとは可能なのか。多い人数のところに行く方が、メリットがあるのではないかと思います。	距離的にも可能と考えるが、地域的な結びつきが八条との方が強いという意見などあれば、それも含めて検討したいので、提案いただきたい。
《学校再編》 中筋小は人数が少ないので、統合後の学校の場所は、神美小又は新田小になるのか。	現時点ではどこの学校に配置するという具体案はお示ししていない。基本的には、建物の古さや一番遠い地区からの距離、通学バスが必要な場合は人数が多すぎると限界があるなど、いろいろなことを複合的に考える必要がある。
《学校再編》 複数の学校を統合するとした場合、一人の子どもが、6 年間の間に 2 回、3 回と統合するようなことは避けるようにしていただきたい。	統合は、保護者にとっても子どもたちにとっても大きな負担が生じることは承知しており、課題として時期等を見ながら検討していきたい。また、一度再編すると、もう再編はないと思わ

	れる方もあると思う。丁寧に説明をしていきたい。
《その他》 適正配置、再編の枠組みで、「小学校は原則、同一中学校区内とする」とあるが、豊岡小は豊岡南中と豊岡北中に分かれて進学するという問題がある。この素案は、この問題の解消も含めた案になっているか。 この問題は、過去からあった。それが進んでいない現状は、難しい部分ではあるだろうとは思いますが、全体の再編という考え方の中であれば、一つの機会になるのではないかと思います。 別の機会でならそれはそれで、ぜひ検討をしていただきたい。	豊岡小の中学校進学については、過去からの課題であると認識している。 今回の審議会では、基本的には現在・将来の複式学級の解消を中心に進めている。この議論は別の機会で議論をさせていただきたいと考えている。 地域の皆さんの声があるようであれば、受け止めさせていただいて議論のスタートをさせていただければと思う。 審議会における検討案件にするかどうかについては、審議させていただく。 審議会で、今回は複式学級解消に焦点化して分散進学は別途協議となれば、どういう手順でどうすればいいか、示したい。
《その他》 親の声と地域の声を聞くとのことだが、地域の声として「地域から学校を無くしたくない」という声が出てくると思う。そこをどこまで聞くのか。	この場でいただいた意見は、保護者の想いとして地域に伝え、保護者の方と地域の方のギャップを埋める調整をしたい。『保護者はこう想っている。学校の主役は子どもである。今後地域を守る子どもたちのために何とか考えて欲しい。』というお願いをしたいと考えている。
《その他》 学校のネット環境がどの程度のものか教えて欲しい。今年はコロナで教育講演会は行われない状態で、ユーチューブライブで発信しようとしても環境が整わないと…ということもあるので、できるかどうかを教えて欲しい。	学校内は無線 LAN を主と考えている。普通教室はすべて導入済である。ただ、校内 LAN は整備してから 15 年程度経過し、規格は 1 つ古い 100 メガになっている。今年度、1 ギガに対応するよう再整備を進めている。 インターネットの回線は、学校は一旦市役所に集約してからインターネットに接続しているが、その回線を 8 月に 1 ギガに高速化した。 今年度、1 人 1 台端末を整備する。これまでの台数の 6 ～ 7 倍で、今年度だけで 6 千台程度導入する。ネットワ

	一クの帯域が足りなくなる可能性があるため、随時、検討をしていきたい。
《その他》 1人1台端末について、持ち帰って家庭学習でも使うのか、学校だけで使うのか。	家庭への持ち帰りも検討している。まだ家庭でどう使うか、学校とも協議ができていない。運用が整えば、持ち帰りもできるようになると考えている。
《その他》 お母さん方からは、例えばいじめがあった場合など、人間関係を考えると、クラス替えができないと不安であると聞いている。校区外で通いたいという世帯が増えるのではないか。	現時点でもクラス替えができない学校・学級がある。担任が一人一人のことをよく見て、もし心配があれば子どもの声を聞き、保護者の方と連絡を取って話し合いをしながらいじめの解消と再発防止に努めている。 もし仮にいじめがあって学校に行きにくい状況となれば、一定の基準はあるが、校区外就学も検討することができる。 また、クラス替えができなくてもある程度の人数がいて、相談できる友達、仲の良い友達がいるなど、多様な関係性が築けるような環境を確保する必要があると考えている。

■アンケートでの意見（要約）

（適正規模・適正配置や再編の枠組みについて）

- 学びの環境について、人数が少ない状況は解消が必要だと思います。地域によって学校の有無は若い世代が離れていくことにつながるが、少人数での学びの環境を維持したところで、同じ結果につながると思います。人数が多くなる学びの環境優先が重要だと思います。
- （小規模校の）児童・生徒に対して細かい指導ができているのはいい事ではあるが、多くの友達との接し方が分からない子が出てくる。多くの考え方の中で生活することは必要であると思う。
- 慎重に進める必要はあるが、3年かかるとなると、仮に小学2年生から動き出したとして、卒業近くの再編となる。保護者にとってはそれならこのままでもなりやすいのではないかと。市が主となって動くことがやはり必要だと思う。
- 市が主導で統合を進めていく方が良いと思う。未来を担う子どもたちを優先して教育に努めていただきたい。
- できるだけ早い段階で再編案を完成させ、適正な規模での学校運営に力を入れていただきたい。
- 必要な統合はやむを得ないと感じる。ただし、丁寧な説明が必要。
- 1クラスの人数が多いと、先生が一人一人の生徒をしっかりと見られないのではないかと。20人程度という規模はいいと思う。（同様の意見あり）
- 素案は、現実的なものであるが、少子化の問題はもっと先に大きな課題が見えているので、長期的な適正配置に対する案も同時に検討が必要だと感じた。
- 中筋小と神美小を統合しても、数年後にまた同じ状態になるのではないかと。もっと大きな枠で検討すべきではないかと。
- 複式学級の解消を最優先とする考え方は変更して欲しい。もっとより将来を見据えた取組をしてほしい。
- クラス替えのできる規模を確保してほしい。（同様の意見あり）
- 複式学級の解消は大きな課題だと思います。考え方に同意します。
- 複式学級になるまでは存続させて欲しい。

(複式学級について)

- 複式学級は早期に解消すべき。
- 複式学級は、教師の高い力量が求められ、ある程度の力がない教師には勤務が難しい。また、子どもの多様な意見交流や活動量を保障することが難しく、特性の強い子が一人でもいる中ではなかなか授業が難しい。
- 複式学級の風景を見て、「自分の子どもが」と考えると不安しかないように感じた。(同様の意見あり)

(その他)

- 非認知能力に着眼した演劇ワークショップには大変期待しています。
- ICT を先駆けて利用して、近隣町村との差別化を図って、子どもを増やすことにもつなげればと思います。
- 課題が多いとは思いますが、学ばせる学校を選択できる仕組みが作れないか。各地域の特性に合わせた教育環境が生まれる機会になるのではと期待します。
- 中学校の校区再編は考えておられるのか？
- 再編により、自分の地域のふるさと教育ができなくなるという事は避けてほしい。